

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センターめだか		
○保護者評価実施期間	R8年2月2日 ～ R8年2月13日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30 (回答者数)	17
○従業者評価実施期間	R8年2月3日 ～ R8年2月13日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4 (回答者数)	4
○訪問先施設評価実施期間	R8年2月3日 ～ R8年2月13日		
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	17 (回答数)	15
○事業者向け自己評価表作成日	R8年3月31日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・経験豊富な訪問支援員が訪問している。	・専門的なアドバイスができるよう、発達障がい児コーディネーター等の資格を取得している。 ・必要に応じて児童発達支援管理責任者、作業療法士、言語聴覚士等も訪問している。	・研修に参加するなどして、スキルアップを図る。 ・必要に応じて児童発達支援管理責任者、作業療法士、言語聴覚士等も訪問する。
2	・センターの担当職員と連携し、支援を実施している。	・保護者の意向や気持ちに寄り添いながら支援している。 ・センターで実施している具体的な支援方法を共有している。	・訪問先や保護者と子どものニーズを把握し、それぞれの立場に立ちながら、子どもが集団生活を楽しめるように支援していく。 ・子どもの現状と発達ニーズを見極めた支援ができるよう取り組んでいく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・訪問先の環境等に合わせた支援ができていないことがある。	・支援方法のアドバイスが的確でないことがある。	・訪問支援員のスキルアップを図る。 ・訪問先の環境やクラスの現状を考慮し、支援方法をアドバイスしていく。 ・訪問時に保育の妨げとならないよう配慮する。
2	・職員体制が充実していない。	・訪問支援員2名で対応しているため、訪問日を訪問先に合わせてもらっていることがある。 ・訪問回数が月1日の頻度となっている。	・職員体制の充実を図る。 ・他職種で連携した支援を実施する。